

智内威雄

(ちない・たけお) 左手のピアニスト・リサイタル

5/15 2015年 5月15日(金) 19時開演 (18時半開場)

東京文化会館小ホール

19:00-

「第9回 左手のアーカイブコンサート」 ～ドイツと日本の左手ピアノ曲～

1925年製のニューヨークスタインウェイで奏でる、
左手ピアノ音楽の黄金期

■チケット代金(税込):全席自由席

前売り券: 一般席 3000円、ペア席 5000円、
学生席 2000円

当日券: 一般席 3500円

■チケット購入先:

「左手のアーカイブ」プロジェクト事務局
070-6926-6706(有馬)、070-5269-6005(磯辺)
発券手数料: 200円 info@lefthandpianomusic.org
※氏名、住所、電話番号、希望枚数をご連絡ください。

カンフェティ・チケットセンター (1/12発売)
0120-240-540 (フリーダイヤル)
発券手数料: 無料 (http://confetti-web.com/)

東京文化会館チケットサービス (1/23発売)
03-5685-0650
発券手数料: 文化会館の規定に準じます。(http://www.t-bunka.jp/ticket/)

■コンサートへのお問い合わせ:

「左手のアーカイブ」プロジェクト事務局
070-6926-6706、info@lefthandpianomusic.org
※未就学児の入場は「左手のアーカイブ」プロジェクト事務局にご相談ください。

主催:「左手のアーカイブ」プロジェクト
協賛:日本ピアノサービス株式会社
助成:公益財団法人朝日新聞文化財団

■予定演目

ライネッケ:「ピアノソナタ(全4楽章)」
バッハ(ブラームス、ヴェットゲンシュタイン編):「シャコンヌ」
スクリャービン「前奏曲と夜想曲」

左手のアーカイブ委嘱作品:
塩見允枝子「ジュピターの環」
川上統「宮沢賢治の夜」より
橋爪皓佐「9つのソナタ」より

※演目は演奏者の都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

「左手のアーカイブ」プロジェクト <http://lefthandpianomusic.jp>

第9回 左手のアーカイブコンサート

出演:左手のピアニスト・智内威雄 (ちない・たけお)



76年生まれ。東京音楽大学卒業。在学中からイタリア・ミラノにて研鑽を積む。卒業後、00年にドイツ・ハノーファー音楽大学に留学し、数々の国際コンクールにて入賞、受賞をする。その直後に右手に局所性ジストニアが発症し、ベルリンにてリハビリを開始する。現在は日常生活にほぼ支障がないレベルに回復する。リハビリ期間に「左手のピアノ作品」と出会う。

「左手のピアノ作品」は、第一次世界大戦以降、膨大な数が作曲されながらも忘れ去られた分野であり、その近代の音楽芸術を復刻させ、未来に繋げる事を使命として、03年より「左手のピアニスト」として音楽活動を再開する。10年に、左手の音楽の発掘と普及を目指す「左手のアーカイブ」プロジェクトを立ち上げる。同団体にて名曲の復刻・普及活動をする傍ら、14年にはワンハンドピアノレッスンを立ち上げ、楽譜制作や後進の育成など、未来に繋げる為の環境作りにも注力する。13年には、NHK制作によるドキュメンタリー番組、ETV特集「左手のピアニスト～もうひとつのピアノ・レッスン～」が放送される。

使用ピアノ:CD-135 アートヴィンテージ® スタインウェイ



1925年にニューヨークのスタインウェイ本社工場で製造された名器。音楽に壮大なスケールを与える群を抜いたダイナミックレンジを特長とするCD-135。その伸びのある表現力豊かな音色は、ピアニストの繊細な要求に応じて様々な表情に変化しながら大ホールの間々まで美しく響き渡ります。今回は、左手の音楽が多く生み出された1900年代初頭の音を会場に届ける為に、この

ピアノを所有する日本ピアノサービス株式会社のある神戸市から会場に運び込まれます。

※CDナンバーは、スタインウェイ社によってコンサートやレコーディングへの貸し出し専用として特別に管理されていたピアノの管理番号です。
※アートヴィンテージ®は日本ピアノサービス株式会社の登録商標です。

東京文化会館 (東京都台東区上野公園5-45)



アクセス

- JR上野駅:公園口徒歩1分 (山手線、京浜東北線、常磐・成田線、常磐線、高崎線、東北本線)
- 東京メトロ上野駅7番出口 (銀座線・日比谷線)
- 京成上野駅、正面口 (京成線)

1961年に開館した当ホールは、上野駅の駅前にあり、周りには東京都美術館、西洋美術館、国立博物館、科学博物館、上野動物園などが隣接し、近代・東京を感じられる場所です。近代建築の雄、前川國男が手がけたホールです。客席は3方から舞台を取り囲む独特な形になっており、古き美しきモダニズム建築と、優れた音響を持ち合わせた東京を代表するホールです。

「左手のアーカイブ」プロジェクトの活動について

「左手のアーカイブ」プロジェクトは、2010年、現在も左手のみによる演奏活動を続けるピアニスト・智内威雄が中心となり発足しました。その目的は、左手のためのピアノ作品という忘れ去られてしまった貴重な音楽作品の発掘・復興と、左手を主とする片手演奏の認知向上と普及振興にあります。以下の2点を主要な活動として位置づけています。

- 1) 埋もれてしまった歴史的な名曲の録音・映像の作品化を通して、近代音楽史の発掘を行います。
- 2) 中級・上級者のための新曲・編曲など、委嘱作品を含む楽曲楽譜の作成を通して左手演奏の新たな魅力を伝えます。

そして2014年には「左手のアーカイブ」プロジェクトが養ってきた片手のピアノ演奏のためのノウハウを元に、ワンハンド・ピアノレッスが発足しました。より身近に片手のピアノ演奏の魅力を知っていただく普及活動です。ワンハンド・ピアノレッスンでは、以下の2点を主要な活動として位置づけています。

- 1) 幼児や高齢者を含む、より広い層への片手のピアノ演奏のための音楽指導を行います。
- 2) 主に入門・初級のための楽譜、新曲、編曲などの委嘱楽譜を含む教材の作成をします。

現在「左手のアーカイブ」が主催するイベントとしては、「左手のアーカイブコンサート」と「ワンハンド・ピアノフェスタ!」の2つがあります。「左手のアーカイブコンサート」は、第一線で活動するピアニストによる左手演奏のライブ演奏を通して、左手演奏の魅力を知っていただくコンサートイベントであり、「左手のアーカイブ」の活動報告等メッセージをお伝えしつつ、支援者の皆様との交流を図る場として機能しています。「ワンハンド・ピアノフェスタ!」は、2013年より始めた、公開レッスン、発表会、講義を含む、いわゆるワークショップ形式の交流イベントです。ここでは左手のみならず、片手演奏に親しむ者同士の交流と、演奏発表の場を提供します。

この優れた音楽分野を世に広く知らせると同時に、潜在的に相当数にのぼるといわれる右手にハンディキャップをもつ演奏家に、音楽を続けるひとつの道を示したいという智内威雄の強い願いから始まった「左手のアーカイブ」プロジェクトは、さらに幅広い層の人々へ向けて、そして次の世代へとバトンを手渡すことを視野に入れた活動を展開しています。

※「左手のアーカイブ」プロジェクトは、皆様からの募金で運営しています。一口1000円の募金をいただいた方には楽譜、一口1500円の募金をいただいた方にはCDを差し上げます。当日会場でも受け付けています。

「左手のアーカイブ」プロジェクトのサイト

<http://lefthandpianomusic.jp> (日本語)、<http://lefthandpianomusic.org> (English)